

# 城内地区まちづくりの基本方向（提言の概要）

【全市的位置づけ（第2次基本計画より）】  
「歴史文化ゾーン」として、地域資産を生かした、歴史、文化の視点から魅力づくりの取組を進める

## 1. 地区の特性と課題

### 【特性】

- 特別な地区  
かつて尼崎城が築かれ、街の繁栄の基礎となった場所
- 近代建築などの地域資源  
旧城内中学校や旧尼崎警察署、城内高校、旧阪神電鉄発電所などは、当時の面影を残す地域の歴史的資産となっている
- 市民の注目  
市民の関心が高まりつつあり、まちづくりの胎動が見られる
- 阪神尼崎駅に近い利便性  
城内地区は阪神尼崎駅に近く将来的にも利便性が高まる
- 中央図書館、地域研究史料館分室など歴史文化関連施設の集積
- 地区環境保全への要請  
公共施設が多く文教地区的な雰囲気。学校などにはまとまった緑もある。

### 【課題】

- 本市の魅力向上への貢献
- 地域資産を生かしたまちづくりの推進
- 市民活動の促進
- 歴史博物館・城址公園への対応

## 3. 城内地区まちづくりの目標（基本方向）

懐かしさにふれ 地域を学び 新たな活動が生まれるまち城内に向けて

- ＜目標＞
- 歴史文化にふれ、懐かしさや安らぎを感じられるまち
  - 市民や子供たちが地域を学ぶまち
  - 市民の新たな活動や交流が生まれるまち

### ＜基本方向＞

- 【歴史文化の拠点】 かつてお城が築かれた地区として、尼崎の歴史文化を保存継承し、発信していく中心地に
- 【本物の魅力】 今も残る本物の近代建築の中で、本物の歴史文化にふれられる魅力的な場所に
- 【まちの活力】 城内地区だけでなく、周囲の歴史文化資源を含めた観光などの情報を発信し、まちの活力源に
- 【人材の育成】 小中高校生から大人まで幅広く尼崎の歴史文化にふれて学び、未来のまちを創っていく場に
- 【市民活動の活性化】 地域研究などに係わる市民活動グループ、ボランティアの育成拠点に

## 2. 歴史文化を活かしたまちづくりの意義

- 個性的なまちづくり、そのまちらしさにつながる
- 市民が地域に愛着をもつ、わがまち意識が育つ
- 生涯学習、地域学習など、子育て環境として魅力的なまちになる
- ボランティア活動などで、市民まちづくりが活発になる
- 魅力的なまちをつくることで、歴史文化観光、都市観光へとつながる

## 5. ネットワークの形成

### ◆周辺地区とのネットワーク形成

- 駅周辺の多様な魅力のつながり
  - ・阪神尼崎駅周辺地域全体で多様な魅力の連携（一体的PR、回遊性確保）
  - ・来訪者を迎える仕組み（駅や観光用大型駐車場など受け入れ拠点、案内システム、ガイド役などの整備）
- 歴史文化や産業遺産など地域資源のつながり
  - ・寺町ー城内・築地ー大物ーユニチカ記念館などのつながり
  - ・尼崎南部地域を結ぶ中国街道や運河
- 道のつながり
  - ・緑豊かで快適な散策空間のつながり
  - ・歴史文化ゾーンの回遊性

### ◆広域のネットワーク形成

- 文化学習施設のつながり
  - ・市内外の文化学習施設、ミュージアム等との連携（魅力の相乗効果、機能連携、運営協力など）
  - ・例：阪神間ミュージアムネットワーク

## 4. 城内地区まちづくりの内容（城内地区まちづくりのイメージ）

### ◆東町開明線の整備

- 歴史文化ゾーンを東西に連絡する地域軸（緑豊かな文化的雰囲気の散策道）

### ◆城址公園の整備

- 城址公園、中央図書館一帯の魅力づくり

### ◆歴史博物館用地の活用

- 広くまちづくりに役立つ利用へと転換（例：公園的利用、来訪者用駐車場など）

### ◆快適な住環境・緑豊かなまちづくり

- 歴史文化的環境との調和
- 中低層住宅を中心に緑のある町並み景観の形成
- 潤いのある水辺景観
- 良好な住宅地を形成し、地域人口の増加につなげる

### ◆旧城内中学校の活用

- 歴史文化センター（仮称）＝文化財を収蔵し、本物の歴史文化にふれられる場
- 通史展示（全国区の歴史）
- 体験型プログラムの提供
- 歴史文化ゾーン全体の観光案内センター
- 魅力的な中庭、樹木の活用
- 教室そのものを活用
- 体育館の有効利用（発掘体験場等）

### ◆旧尼崎警察署の活用

- 地域史研究支援センター（仮称）＝歴史文化について調べ学び幅広い主体が活動する場
- 歴史ボランティアなど市民活動の場
- 地域史等の研究活動

- +α（ちょっとした楽しみ）
- ・ミュージアムグッズ、名物
  - ・すてきなカフェ
  - ・楽しいイベント など

### ◆既存施設との連携

- 中央図書館、地域研究史料館分室等との機能の連携

### ◆参加型マネジメント（管理、運営）の仕組み

- 管理、運営への市民参加、企業参加
- 施設と市民の連携、地域への展開
- 市民参画の仕組みづくり
- 段階的なステップアップ

易	利用	(すぐできる)
	PR、利用ふやす	STEP1
	清掃	
	日常管理	STEP2
	案内、ガイド	
	運営、プログラム	STEP3
	指定管理者	
難	人材育成	

○STEP1 に向けては始めること

- ・市民の理解と想いの集約（PR：来て、見て、体感して、考えてもらう）
- ・続けるための仕組みづくり（ポスト懇話会）